

みやぎ地域づくり交流会

2012年3月15日

発行
みやぎ地域づくり交流会

事務局
宮城公民館内



今みんなの
できることを

きずな通信 No. 4

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

特集(2)

地区ふれあいいきいきサロンの紹介

【柏倉町】

平成24年2月26日(日)

柏倉町コミュニティセンター

●「リンゴの唄」や「青い山脈」など懐かしい名曲を北爪幸作先生のアコーディオン伴奏で次から次へ唄いました。「久しぶりに大きな声で歌が唄えて本当に楽しかった。」と話していた参加者たちの笑顔がとっても素敵なサロンでした。



北爪先生のアコーディオンに合わせて大合唱

★福祉交流部会★

【市之関町】



息をいっぱい吸って・・・

平成23年12月11日(日)

市之関町集落センター

●今年度3回目のサロンは大胡保健センター・池田保健師による肘丸体操やスライドを使つての「健康づくり」の話を聞き、またボランティアさんによるフラダンスを楽しみ、美味しい手作りスイーツをいただく等の楽しいひと時を過ごしました。

【苗ヶ島町】

平成24年2月26日(日)

苗ヶ島町集落センター

●今回は「苗ヶ島よもやま話」がメインテーマで、地元にある史跡や語り継がれている伝説など「史跡マップ」を見ながら話を聞き、先人達の残した大切な環境や文化遺産を守り継ぐ大切さを改めて学びました。



熱心に聞き入る参加者たち



講師は、東宮惇允さん

【大前田町】



ボールを使ったストレッチ

平成23年12月4日(日)
大前田町集落センター

●前橋市民体育館の赤石スポーツ指導員のユーモアたっぷりの話し方に魅了され、笑いながらのストレッチで時間のたつのも忘れ、身体も心も軽く、ちよっぴり若返ったサロンでした。



第二回 荒砥川美化運動絵画コンクール開催!

自然文化交流部会では、プロジェクト「清流荒砥川に集う」の一環として、第一回荒砥川美化運動絵画コンクールを開催しました。

絵画コンクールは、宮城小学校六年生の児童から七十点の作品が応募され、厳正な審査の結果、七点の入選作品を決定いたしました。

【みやぎ地域づくり交流会長賞】



六年松村 夏也

松村 夏也さん



六年坂牧 唯奈

坂牧 唯奈さん

【宮城地区自治会連合会長賞】

【前橋市文化協会宮城支部長賞】



六年井上 あめりあ

井上 あめりあさん

【宮城小学校長賞】



六年石川 楓

石川 楓さん

【佳作】

★阿久澤 紀乃さん

★松村 紗希さん

★六本木 光虹さん

《入賞者表彰式》

入賞者への表彰を、3月24日に行われる「みやぎ地域づくり交流会地区内報告会」の中で執り行います。

ふれあいサロン研修会開催される



福祉交流部会では、ふれあいサロンの活動内容をより充実させることを目的に、「ラフター（笑い）ヨガ」の講習会を開催しました。「ラフターヨガ」とは、インドの医師が考案した「笑い」にヨガの呼吸法を組み合わせた新しい健康法で、誰でも手軽にでき、作り笑いが本物の笑いになり、知らず知らず体の中核にはたつき病気に対しても有効なことが証明されています。参加した皆さんも、最初は恥ずかしがっていましたが、しだいに楽しくなり、上着を脱いだでの奮闘ぶりでした。



軽スポーツフェスタ 盛大に開催される

2月12日(日)、宮城体育館で宮城地区軽スポーツフェスタティバル(主催)宮城地区体育協会、共催)みやぎ地域づくり交流会、宮城地区子育連)が開催されました。このフェスティバルでは、ドッジビー、ユニホックなどの軽スポーツを中心に、4人テニススマイルボーリングなどの楽しい催しがおこなわれました。参加した小学生、保護者、中学生ボランティアは熱気あふれる会場で、汗をかきながら楽しくすごしました。



4人ボールテニスにチャレンジ。(△△)

【宮城地区 石の伝説】

牛 石

牛石峠の語源でもある牛石は、形や大きさ、伝説の内容からみても本地区の石の伝説としては随一と言っても過言ではない。この石には日本武尊が東征のおり、この地を通りかかると俄かに睡魔に襲われ、一寝入りして目を覚ますと乗ってきた牛が石になっていたという伝説がある。このことは「赤城太神宮御鎮座略本記」や「山吹日記」にも記述があり、尊が牛から降りた場所も「降り場」と呼ばれていた。日本武尊は熊襲健(くまそたけるのみこと)征伐凱旋などその武運の強さが災いし、父の景行天皇に憎まれ、焼津の焼き討ち、速水での妃の投身など不運な末路を辿り、最後は伊吹山で負った傷がもとで死んだが、墳墓には留まらず白鳥になって飛び去ったという。それは兄頼朝に疎まれ、不運な生涯を奥州平泉で終えた源義経の一生にも似て哀れである。

(自然文化交流部会員

五百部 記)